

2023年3月期
決算説明資料〔IFRS〕
 (2022年4月－2023年3月)

株式会社 LIXIL
 2023年4月28日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています
各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益（CE）
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

〉本日のポイント

2023年3月期 業績の総括

2023年3月期 4Q実績 前年同期比、増収増益

- ・ 原材料費等高騰と円安によるコスト上昇は一服。資材・部品価格や人件費の上昇は、遅れて発現するも、価格改定の浸透により増収増益
- ・ ただし、需要低迷による販売数量減少により数量ごとの固定費負担が高まり、収益性の回復速度が鈍化
- ・ 欧州のサプライチェーンの混乱や米国での在庫調整は4Q以降解消

2023年3月期 通期実績 前年同期比、増収減益

- ・ 年初来実施した価格改定により増収
- ・ 日本：原材料費・資材部品価格等高騰によるコスト上昇と、価格改定の浸透とのタイムラグにより減益
- ・ 海外：原材料費高騰によるコスト上昇に加え、ウクライナ侵攻による欧州でのサプライチェーン混乱、米国における物流遅延による原価上昇・顧客の在庫調整により減益

LIXIL

2

〉本日のポイント

2024年3月期 通期予想

2024年3月期 通期業績予想

- ・ 売上収益15,300億円、事業利益400億円を予想
- ・ 年間配当金は一株あたり90円を予想

足元の事業環境と見通し

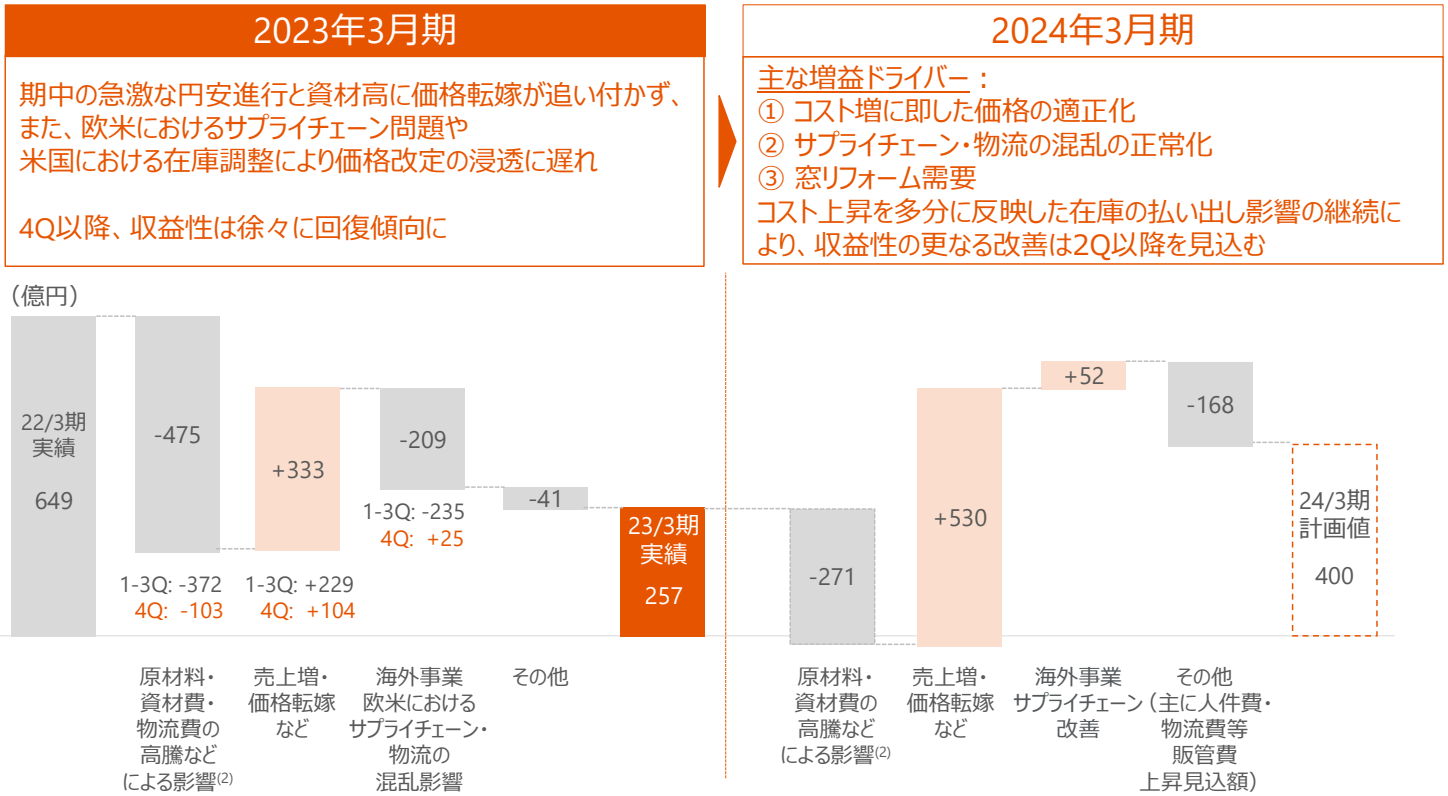
- ・ 日本を含む世界の新築着工戸数は当面弱めと予測
- ・ 但し、日本の断熱リフォーム需要、中東及び東南アジアは引き続き好調
- ・ 国内は、2Q以降の競争環境良化により重要商品の売上拡大を見込む
- ・ 海外での金利上昇等を背景とした需要低迷は上期までの継続を見込む
- ・ 原価の変動費に関する価格転嫁は順調。生産数量減少による固定費負担の増加を高付加価値商品の販売拡大により補うことが課題

LIXIL

3

本日のポイント

2023年3月期実績・2024年3月期見通しについて⁽¹⁾

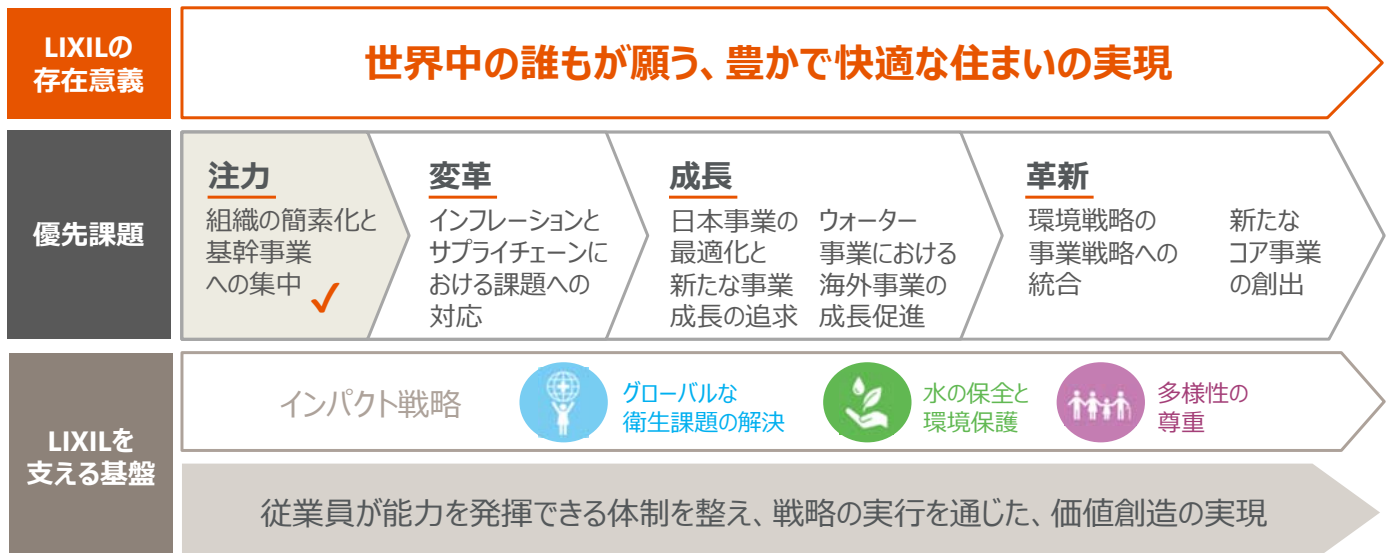


LIXIL (1) セグメント別の数値は (23/3期 実績値) p.26・27、(24/3期 計画値) p.32に掲載
 (2) 為替影響を含む

本日のポイント

経営の基本的方向性⁽¹⁾⁽²⁾ – LIXIL Playbookの更新

- ・ 持続的成長のできる経営への変革と起業家精神にあふれた組織カルチャーの醸成
- ・ 投下資本収益率 (ROIC) 10%以上を目指す
- ・ 事業利益率を改善し、7.5%を達成。中長期的には、10%の達成を目指す
- ・ Net有利子負債/EBITDA 3.5x以下を維持し、中長期的な成長を支える安定的な基盤とする
- ・ 自社の持続的成長と、社会へのインパクト創出の両立を目指す



LIXIL (1) LIXIL統合報告書2022 p.25-34「経営の基本的方向性」 https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_y37/127587/00.pdf#page=26
 (2) 2023年 ESG説明会資料 p.6-7「価値創造を通じたパーパスの実現 – LIXIL PLAYBOOKの更新」 https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_y38/133249/00.pdf#page=6

本日のポイント

LIXIL Playbookにおける優先課題と対応

外部環境の変化への対応による基幹事業の強靱化、環境課題に対する事業を通じた取り組み、新たなコア事業の育成に注力する

変革

インフレとサプライチェーンの課題への対応

課題： 資材・物流費の高騰とサプライチェーンの寸断

- 対応：
- ✓ 素材の変更によるコストダウンとコスト安定の両立
 - ✓ 地域間仕入れを再編し、域内での調達・生産体制への移行
 - ✓ ノックダウンや後工程現地化の推進

成長

ウォーター事業における海外事業の成長促進

課題： 海外市場の成長を着実に取り込む基盤の構築

- 対応：
- ✓ 高付加価値商品、特にシャワーとカラー分野の強化
 - ✓ 販売チャネル多角化による集中リスクの低減
 - ✓ Regional BusinessとGlobal Businessの特定と戦略の分別
 - ✓ コモディティビジネスからの脱却
 - ✓ 戦略的ブランド・ポートフォリオ構築の推進

成長

日本事業の最適化と新たな事業成長の追求

課題： 機動的で収益性高く強靱な事業への転換

- 対応：
- ✓ 機動的な価格改定とカタログのデジタル化
 - ✓ 工場の継続的な再編
 - ✓ プラットフォーム生産導入による小規模投資での柔軟な新商品導入体制の確立
 - ✓ リフォームを水回りから窓・壁の断熱改修に拡大
 - ✓ 全商品群に環境対応商品・ビジネスを導入
 - ✓ デジタル化推進による不断のコストダウン

革新

環境戦略の事業戦略への統合
新たなコア事業の創出

課題： 持続的成長と社会へのインパクト創出の両立

- 対応：
- ✓ 窓リモデル事業にて660万トンのCO₂削減に貢献 **CO₂削減**
 - ✓ リサイクルアルミ使用比率70%実現、2031年までに100%達成 **水の保全**
 - ✓ SATOなどにより排出物による水質汚染の軽減
 - ✓ 「Everstream Shower」/「KINUAMI U」などで節水のみならず、使用されるエネルギーも削減 **資源循環**
 - ✓ 「Revia」/「PremiAL」の展開等、全事業でリサイクルをEnd to Endでの改善を推進

LIXIL

6

2023年3月期 決算ハイライト

前年同期比で増収減益

■ 売上収益 14,960億円、前年同期比 5%増

- ・ 4Q3ヵ月：国内 +1%、海外 +14%（為替影響除く、+3.4%）
- ・ 通期：国内 +1%、海外 +12%（為替影響除く、-0.1%）

■ 事業利益 257億円、前年同期比 391億円減

- ・ 4Q3ヵ月：国内 -6億円、海外 +25億円、連結調整/他 -3億円
- ・ 通期：国内 -207億円、海外 -209億円、連結調整/他 +25億円

■ 最終利益⁽¹⁾ 160億円、前年同期比 326億円減

- ・ 事業利益の減少を主因として減益

LIXIL

(1) 最終利益=親会社の所有者に帰属する利益

7

2023年3月期 連結業績結果

(億円)	通期				第4四半期 3ヵ月		
	22/3期	23/3期	前年同期比	%	23/3期	前年同期比	%
売上収益	14,286	14,960	+674	+4.7%	3,722	+180	+5.1%
売上総利益	4,869	4,686	-182	-3.7%	1,162	+27	+2.4%
(%)	34.1%	31.3%	-2.8pt	-	31.2%	-0.8pt	-
販管費	4,220	4,429	+209	+4.9%	1,114	+11	+1.0%
事業利益 ⁽¹⁾	649	257	-391	-60.3%	47	+16	+52.0%
(%)	4.5%	1.7%	-2.8pt	-	1.3%	+0.4pt	-
非継続事業を含む最終利益 ⁽²⁾	486	160	-326	-67.1%	50	-21	-30.0%
EPS (円)	167.21	55.54	-111.67	-66.8%	17.32	-7.11	-29.1%
EBITDA ⁽³⁾	1,456	1,076	-380	-26.1%	251	+17	+7.1%
(%)	10.2%	7.2%	-3.0pt	-	6.7%	+0.1pt	-

- 事業利益率：前年同期比2.8pt悪化。(4Q(3ヵ月)で前年同期比0.4pt改善)
- 売上総利益率：前年同期比2.8pt悪化。(4Q(3ヵ月)で前年同期比0.8pt悪化)
- 販管費：販売活動量の増加及び物流費の上昇等により、前年同期比+209億円(日本+2億円、海外+67億円、為替換算影響+140億円)。販管費率は、前年同水準。

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

8

2023年3月期 業績概況 (新報告セグメント)

全事業増収なるも、円安や資材・部品価格の高騰影響が残り、通期では減益
直近四半期(4Q3ヵ月)は、価格改定の浸透が進み、ハウジング事業は増益に転換

新報告 セグメント	(億円)	通期					第4四半期 3ヵ月			
		22/3期 ⁽¹⁾	23/3期	前年同期比		23/3期	前年同期比		セグメント 変更による 増減 ⁽²⁾	セグメント 変更を除く 増減
				セグメント 変更による 増減 ⁽²⁾	セグメント 変更を除く 増減		セグメント 変更による 増減 ⁽²⁾	セグメント 変更を除く 増減		
LWT	売上収益	8,622	9,153	+531		2,321	+171			
	事業利益	766	473	-294		112	-9			
LHT	売上収益	5,842	5,982	+140	+43	+97	1,439	+11	-5	+16
	事業利益	317	194	-123	+12	-135	39	+28	+1	+26
全社/ 連結調整	売上収益	-178	-175	+3	-12	+14	-38	-2	-4	+2
	事業利益	-434	-409	+25	+1	+25	-104	-3	0	-3
合計	売上収益	14,286	14,960	+674			3,722	+180		
	事業利益	649	257	-391			47	+16		

為替影響⁽³⁾：

通期：売上収益 +568億円、事業利益 +49億円

4Q3ヵ月：売上収益 +123億円、事業利益 +5億円

LIXIL

(1) 22/3期 通期・四半期実績については、2022年7月29日公表の「報告セグメントの変更に関するお知らせ」をご参照
(2) 4報告セグメントから2報告セグメントに変更したことに伴う連結調整額を含む
(3) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

9

ご参考：2023年3月期 業績概況（旧報告セグメント）

旧報告セグメントによる通期業績は以下のとおり

旧報告セグメント	(億円)	通期			第4四半期 3ヵ月	
		22/3期実績	23/3期実績	前年同期比	23/3期実績	前年同期比
LWT	売上収益	8,622	9,153	+531	2,321	+171
	事業利益	766	473	-294	112	-9
LHT	売上収益	4,667	4,763	+97	1,138	+16
	事業利益	282	147	-135	18	+26
LBT	売上収益	893	957	+64	241	+5
	事業利益	35	34	-1	21	+5
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	303	270	-32	62	-13
	事業利益	-1	13	+14	1	-4
全社/連結調整	売上収益	-198	-184	+14	-40	+2
	事業利益	-433	-408	+25	-104	-3
合計	売上収益	14,286	14,960	+674	3,722	+180
	事業利益	649	257	-391	47	+16

為替影響⁽¹⁾：

通期：売上収益 +568億円、事業利益 +49億円

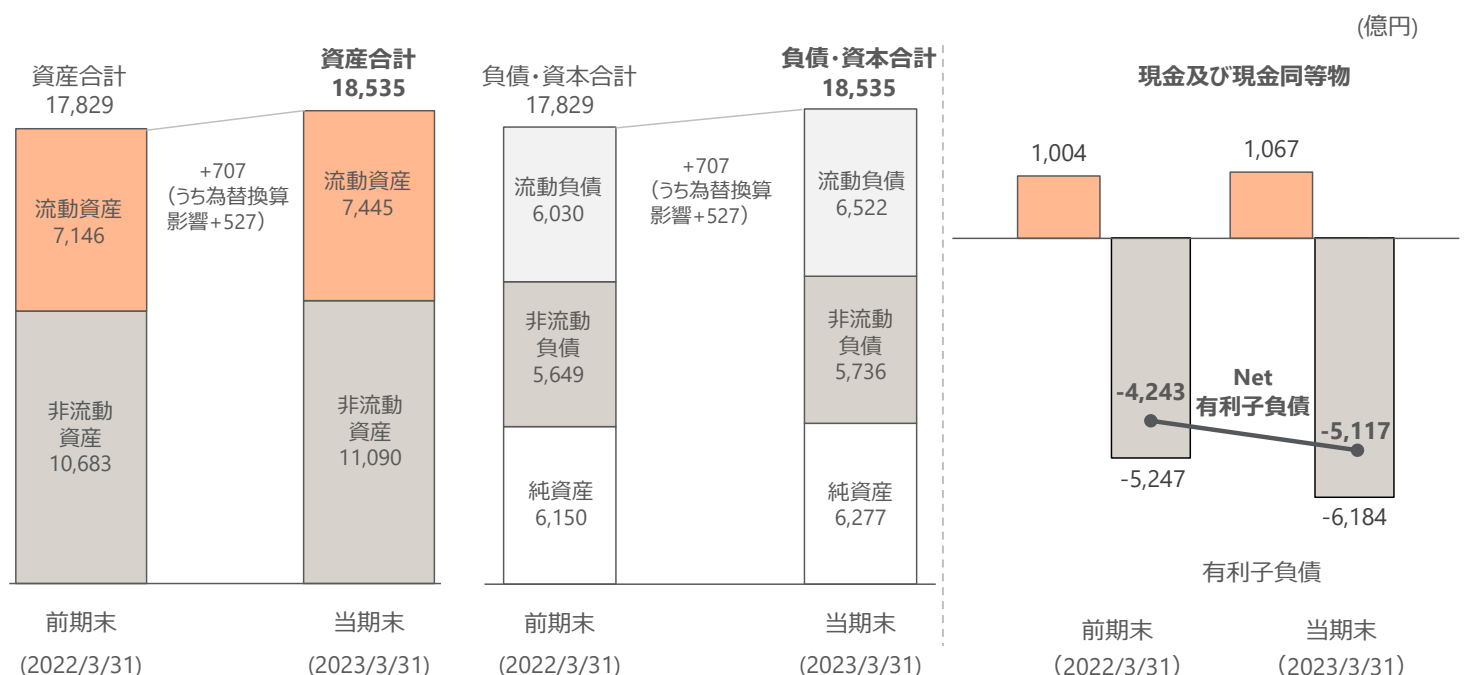
4Q3ヵ月：売上収益 +123億円、事業利益 +5億円

LIXIL (1) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

10

連結財政状態

有利子負債は、主に「パートナーシップ構築宣言」に基づく支払期日短縮に関する取り組みの推進⁽¹⁾を目的とした2Qにおける資金調達により増加。自己資本比率は、33.7%



LIXIL (1) 23/3期 第2四半期決算説明資料 p.33 事業・ESG関連トピックス「サプライチェーンにおける責任ある調達と製品の安定供給を推進」をご参照

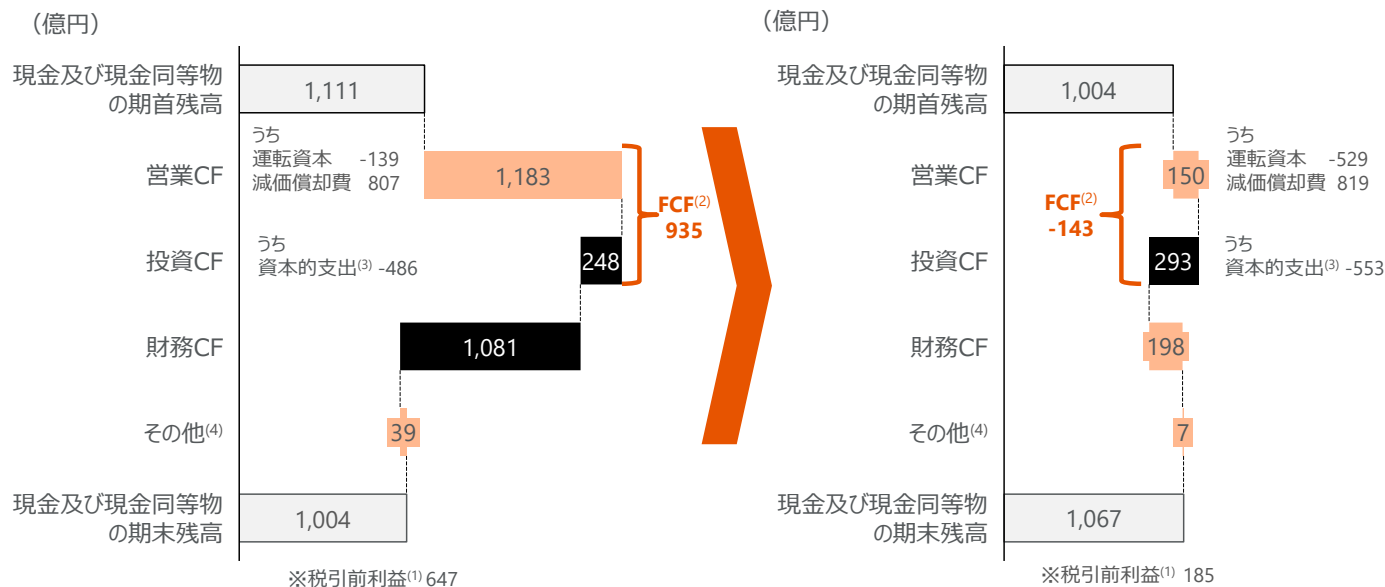
11

▶ キャッシュフローの状況及び現金残高

フリーキャッシュフローは、サプライチェーンの寸断への対応としての在庫水準の引き上げ、税引前利益の減少等により前年同期比で1,078億円減少

22/3期 第4四半期⁽¹⁾

23/3期 第4四半期⁽¹⁾



LIXIL

(1) 非継続事業を含む
 (2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

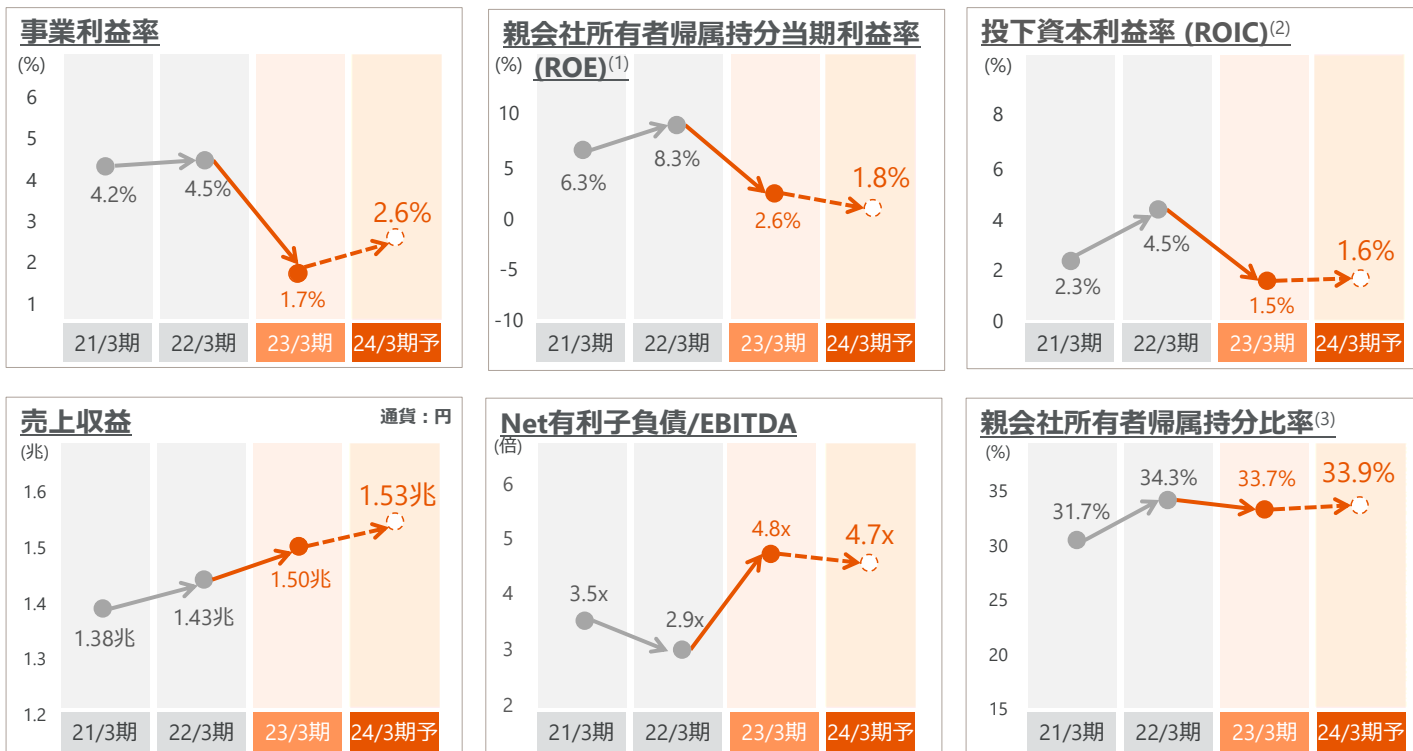
(3) 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得 (IFRS16リースによる使用权資産の取得を除く)
 (4) 「その他」= 為替換算影響額

12

▶ 経営戦略の進捗・2024年3月期 通期業績見通し

財務指標の推移・2024年3月期 業績予想

財務体質の強化・収益性の向上ともに、順調に進捗



LIXIL

- (1) 2023年4月28日公表の新株式発行影響考慮前数値
 (2) 算出方法：営業利益×(1-実効税率)÷(運転資本+固定資産)
 (3) 日本基準 (JGAAP) における自己資本比率

14

2024年3月期 業績予想 (全社)

増収増益⁽¹⁾を計画。年間配当金90円を予定

(億円)	23/3期 実績	24/3期 業績予想	増減
売上収益	14,960	15,300	+340
事業利益	257	400	+143
営業利益	249	280	+31
税引前利益	198	210	+13
税金費用	-29	-99	-71
非継続事業からの損益	-9	0	+9
非支配持分に帰属する当期利益	0	1	0
親会社の所有者に帰属する当期利益	160	110	-50
EPS (円)	55.54	38.32 ⁽²⁾	-17.22
ROE (%)	2.6	1.8 ⁽²⁾	-0.8pt
ROA (%)	0.9	0.6	-0.3pt
ROIC (%)	1.5	1.6	+0.1pt
EBITDA ⁽³⁾	1,076	1,205	+129
Net debt/EBITDA ⁽³⁾	4.8x	4.7x	0.0x
配当 (円/株)	90	90	-
連結配当性向	162.0%	234.9% ⁽²⁾	-

LIXIL

- (1) 事業利益ベース
 (2) 2023年3月31日現在の発行済み株式数 (自己株式数を除く) を使用
 (3) EBITDA=事業利益+減価償却費

15

2024年3月期 業績予想 - 前提条件

前提条件

		23/3期 実績	24/3期 見通し	差異
住宅着工 (千戸/YoY)	総数	848 ⁽¹⁾	833/-2%	-
	リフォーム	+7% ⁽¹⁾	+1%	-
為替レート (平均レート)	円/米\$	134.95	135.0	0.0%
	円/ユーロ	141.24	137.7	-2.5%
原材料価格 (千円/トン)	アルミ	392	385	-7
	銅合金	989	1,001	+12

事業環境と見通し

全社

- 原材料費・円安によるコスト高要因は一服なるも、日本における資材・部品価格の値上げ圧力は24/3期も継続。価格適正化、サプライチェーンの見直し、固定費の削減などの施策により引き続き収益性の回復を図る

日本

- 新築**：22年10月以降、急激に悪化が加速した新築着工数の影響は、24/3期上期まで継続を見込む
年換算で前年比-2%の見通しに落ち着くことを見込む

- リフォーム**：省エネへの関心の高まりと国策を背景とした窓リフォームなどを中心に、需要は引き続き堅調と見込む

海外

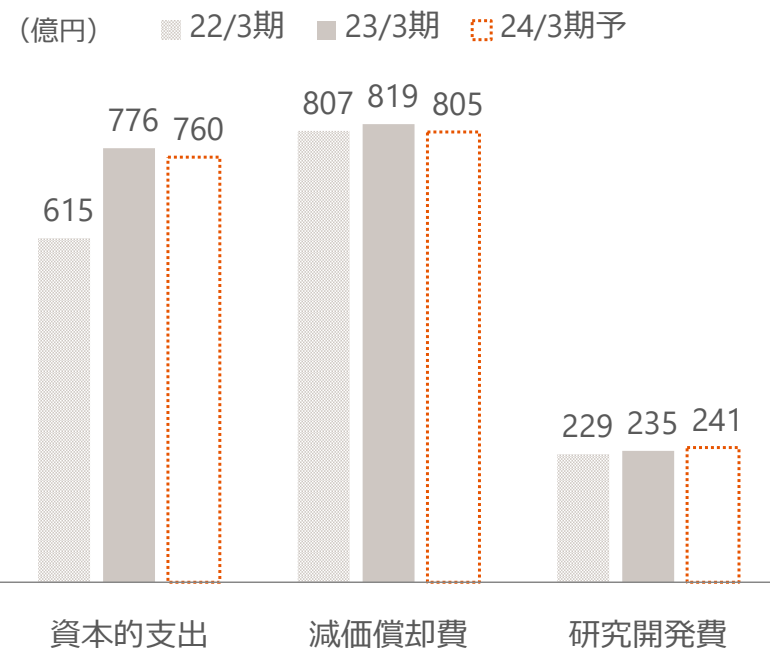
- 欧州、中東、アフリカ地域**：中欧を中心に金利上昇やインフレ影響により需要軟化継続。中東地域、特にサウジアラビアはロシアに代わる重要成長地域となったが、東欧地域はロシアの影響で不安定、南欧は好調
- 北米**：金利上昇やインフレにより新築需要は影響ありも、リフォーム需要については引き続き堅調な需要継続を見込む
- 中国**：ロックダウン緩和後の経済活動ならびに不動産市況の回復は、今後の状況を注視
- アジア太平洋地域**：経済活動は堅調に推移するも、23/3期比では緩やかな成長軌道となることを見込む
- 海外におけるサプライチェーンを再構築し、可能な限り地産地消の供給モデルを追求。海上運賃高騰時の影響を受けないサプライルート確立を目指す

LIXIL (1) 2023年2月時点における見込

16

資本的支出・減価償却費・研究開発費⁽¹⁾

投資効率と安全性指標を重要目標達成指標とすることにより、財務体質の改善と収益性の向上を両立



資本的支出の内訳

億円	22/3期	23/3期	24/3期予
IT投資	101	126	153
上記以外	514	650	607
資本的支出合計	615	776	760

減価償却費の内訳

億円	22/3期	23/3期	24/3期予
IT償却	129	123	122
上記以外	678	696	683
減価償却費合計	807	819	805

LIXIL (1) 非継続事業を除く。資本的支出・減価償却費には無形資産・IFRS16リースを含む

17

セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

18

ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

日本事業・海外事業ともに、増収減益

	(億円)	23/3期 実績	前年同期比		24/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	4,184	+47	+1.1%	4,295
	事業利益	250	-82	-24.8%	255
	%	6.0%	-2.1pt	-	5.9%
海外 ⁽¹⁾	売上収益	4,969	+485	+10.8%	5,155
	事業利益	223	-211	-48.7%	275
	%	4.5%	-5.2pt	-	5.3%
LWT合計	売上収益	9,153	+531	+6.2%	9,450
	事業利益	473	-294	-38.3%	530
	%	5.2%	-3.7pt	-	5.6%

売上収益

- **日本**：価格改定、及び、快適性の向上を目的としたリフォーム売上増により増収
- **海外⁽¹⁾**：米国と中国、欧州一部地域における需要の軟化影響により、現地通貨ベースでは売上収益微減。円貨では円安影響により、増収
- **海外売上比率**：前年同期比2.3pt増の54.3%

事業利益

- **日本**：資材・部品価格の上昇加速を期中の価格改定と固定費削減でカバーしきれず、前年同期比、減益
- **海外⁽¹⁾**：物流費・エネルギー価格を含むコスト上昇に対し、価格転嫁を進め、3Q以降徐々に収益性回復しはじめるも、前年同期比、減益
- **海外事業利益比率**：前年同期比9.5pt減の47.2%

LIXIL (1) 為替影響を除く前年同期比：売上収益 -81億円、-2%。事業利益 -60%

19

ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

地域別：マネジメントベース LWT海外合計：制度会計ベース ⁽¹⁾ (億円)	23/3期 実績	前年同期比 現地通貨 ベース	24/3期 業績予想	前年同期比 現地通貨 ベース
アメリカ	1,559	-4%		+8% ⁽²⁾
欧州、中東、アフリカ地域	1,929	+1%		+4%
中国	509	-15%		0%
アジア太平洋地域	576	+12%		+10%
連結調整・他	395	-		
LWT海外	4,969	+11%	5,155	+4%

■ アメリカ

金利上昇による需要軟化、顧客の在庫調整により、現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ 顧客の在庫調整による発注量減少により、現地通貨ベースで減収
- ✓ 引き続きリフォーム及び直売比率の向上に注力し、利益体質の強化を図る

■ 中国

ゼロコロナ政策解除も年度末までに需要は回復せず、現地通貨ベースで減収。円貨では増収

- ✓ 今後の需要回復状況を注視

■ 欧州、中東、アフリカ地域

サプライチェーン制約からの回復なるも、欧州一部地域における需要軟化により、売上収益は現地通貨ベースは微増、円貨では増加

- ✓ 欧州（特に中欧）での需要減少、ロシアでの売上収益減少。中東地域においては販売好調を継続
- ✓ サプライチェーン制約は1月以降、解消済み

■ アジア太平洋地域

経済活動の回復及び小売り伸長により増収

- ✓ ベトナム・インド・タイが堅調、増収を牽引
- ✓ 全販売チャネルにおいて計画を上回る売上伸長を継続

LIXIL⁽¹⁾ 制度連結会計 為替レート： 23/3期 4Q実績1USD=134.95円、1EUR=141.24円
マネジメントベース為替レート： 23/3期 1USD=115.0円、1EUR=131.1円
24/3期 前提1USD=135.0円、1EUR=137.7円

(2) 23/3期のM&A影響含む

20

ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

日本事業は増収減益。海外事業は、増収増益

	(億円)	23/3期 実績	前年同期比		24/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	5,718	+62	+1.1%	5,830
	事業利益	189	-125	-39.8%	325
	%	3.3%	-2.2pt	-	5.6%
海外	売上収益	264	+78	+41.7%	235
	事業利益	5	+2	+61.2%	5
	%	1.9%	+0.2pt	-	2.1%
LHT合計 ⁽¹⁾	売上収益	5,982	+140	+2.4%	6,065
	事業利益	194	-123	-38.9%	330
	%	3.2%	-2.2pt	-	5.4%

売上収益

- 価格改定、及び住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム需要の増加により、前年同期比増収

事業利益

- 下期の価格改定とリフォーム向け高性能サッシ販売の好調により収益性を回復しつつあるも、新築需要の低迷による販売数量の減少により、価格改定でコスト高をカバーしきれず減益
- 固定費削減の継続とコスト上昇分の価格への転嫁により、引き続き利益率の改善に注力

LIXIL⁽¹⁾ (1) 2023年3月期実績 (旧セグメント)

LHT 売上収益 4,763億円、事業利益 147億円、事業利益率 3.1%
LBT 売上収益 957億円、事業利益 34億円、事業利益率 3.5%
H&S 売上収益 270億円、事業利益 13億円、事業利益率 4.7%

21

➤ (ご参考) データ集

22

➤ 商品・サービス別売上状況

省エネに対する関心の高まりや国策による補助金制度を背景として、4Q以降窓リフォームの需要増加、並びに住宅性能向上を目的とした商品需要が好調に推移

セグメント	主要商品名	(億円)			(%)							
		22/3期 通期実績	23/3期 通期実績	前年 同期比 (%)	前年同期比							
					22/3期				23/3期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q					
LWT	衛生機器**	1,047	1,065	+1.7%	+0.9	-3.9	-0.1	+0.2	+0.4	+6.7	+2.1	-2.1
	バスルーム	859	874	+1.7%	+10.7	-2.9	-3.3	-8.2	-2.4	+4.0	+1.3	+4.1
	洗面化粧台**	391	387	-1.0%	+13.7	+6.6	+2.9	+0.6	+1.8	-1.0	-1.7	-2.7
	キッチン	1,019	1,009	-1.0%	+9.5	+4.8	+1.8	-7.5	+0.3	-2.5	-2.1	+0.6
	タイル	328	319	-2.6%	-1.6	+0.2	+0.6	-2.2	-4.2	-1.2	-2.5	-2.7
LHT	住宅サッシ	1,642	1,655	+0.8%	-2.0	-4.3	-6.6	-3.9	-1.2	-2.1	-0.5	+7.8
	エクステリア	1,014	1,015	+0.2%	+3.1	+1.2	+0.7	+3.0	0.0	+3.2	+1.8	-4.5
	インテリア建材	623	627	+0.7%	-3.1	+0.5	-0.7	+2.4	+1.4	+7.8	+0.7	-6.7
	その他LHT	409	437	+6.8%	-36.5	-32.9	-30.3	+14.7	+17.0	+8.1	+2.8	+0.7
	ビルサッシ ⁽¹⁾	893	957	+7.1%	-15.4	-9.4	+2.3	+4.6	+9.3	+13.3	+5.0	+2.0
	住宅・サービス事業 ⁽¹⁾	303	270	-10.7%	-36.5	-32.9	-44.7	-21.7	-4.8	-11.9	-7.9	-17.8
	海外売上 ⁽¹⁾⁽²⁾	4,671	5,233	+12.0%	+49.6	+6.2	+13.0	+10.0	+11.3	+13.9	+9.3	+13.7
その他・連結調整等	1,088	1,111	-									
売上合計		14,286	14,960	+4.7%	+11.4	+0.1	+0.8	+3.3	+4.2	+6.3	+3.4	+5.1

(ご参考) **「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況

LWT	水栓金具	22/3期 通期実績	23/3期 通期実績	前年 同期比 (%)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
		247	247	+0.2%	+17.9	+13.6	+16.1	+7.5	-0.3	+3.4	-6.1	+4.1

LIXIL

(1) ビルサッシ = 旧LBT、住宅・サービス事業 = 旧H&S、海外事業 = 23/3期 1QよりLHTの国内と海外の売上内訳変更を反映
(2) 海外水まわり事業の商品別売上状況については、p.25参照

23

日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

リフォーム商材売上構成比1.6pt上昇。住宅性能・快適性の向上を目的とした商品需要が好調に推移

(億円)	通期				第4四半期 3ヵ月	
	22/3期実績 ⁽¹⁾	23/3期実績	増減	前年同期比	23/3期実績	前年同期比
リフォーム商材売上	3,100	3,283	+182	+6%	788	+9%
LWT-J				+5%		+7%
LHT				+7%		+10%
ビル事業除く				+6%		+9%
ビル事業				+15%		+21%
リフォーム売上構成比	39%	40%	+1.6pt		39%	+2.6pt

セグメント別リフォーム売上構成比

リフォーム加盟店の推移

	22/3期	23/3期	増減
LWT	47%	49%	+2.0pt
LHT	32%	34%	+1.4pt
国内・計	39%	40%	+1.6pt

店	21年3月	22年3月	23年3月
LIXILリフォームショップ (FC)	540	536	544
LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,373	11,264	11,224
リクシルPATTOリフォームサービスショップ	3,817	3,804	3,833

LIXIL (1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正

24

海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

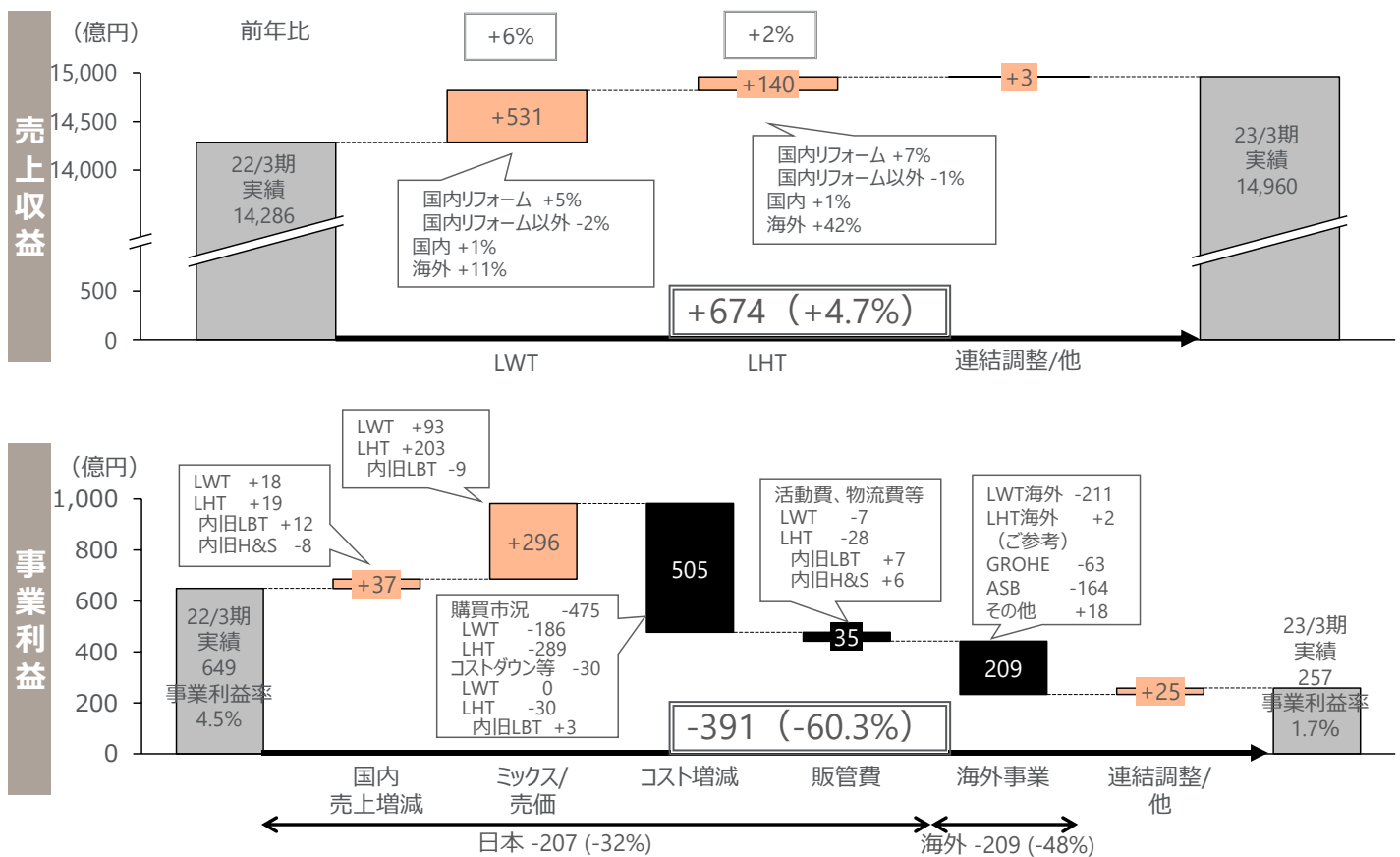
ブランド・ポートフォリオやグローバルな生産体制、先進技術を活かすことで、ポートフォリオ・ギャップを埋め、海外事業の成長を促進⁽¹⁾

売上構成比	23/3期 通期					23/3期 第4四半期 3ヵ月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
水栓金具 (浴室)	42%	13%	64%	51%	39%	39%	12%	59%	50%	38%
衛生陶器等	39%	53%	23%	39%	57%	40%	51%	28%	40%	56%
水栓金具 (キッチン)	8%	4%	12%	5%	2%	7%	4%	12%	5%	2%
浴槽・シャワーシステム	8%	21%	0%	0%	1%	9%	25%	0%	0%	1%
その他	4%	9%	1%	4%	1%	4%	8%	1%	5%	3%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
売上伸び率										
水栓金具 (浴室)	-2%	-11%	-1%	-14%	+22%	-3%	-7%	-4%	-12%	+10%
衛生陶器等	0%	-4%	+11%	-24%	+16%	+9%	+4%	+36%	-9%	-4%
水栓金具 (キッチン)	-12%	-23%	-8%	-22%	+4%	-6%	-21%	0%	-21%	+10%
浴槽・シャワーシステム	+10%	+10%	-22%	-36%	+75%	+36%	+37%	-38%	-59%	+54%

LIXIL (1) LIXIL統合報告書2022 p.27-28「LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』」
https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_y26/119886/00.pdf#page=28

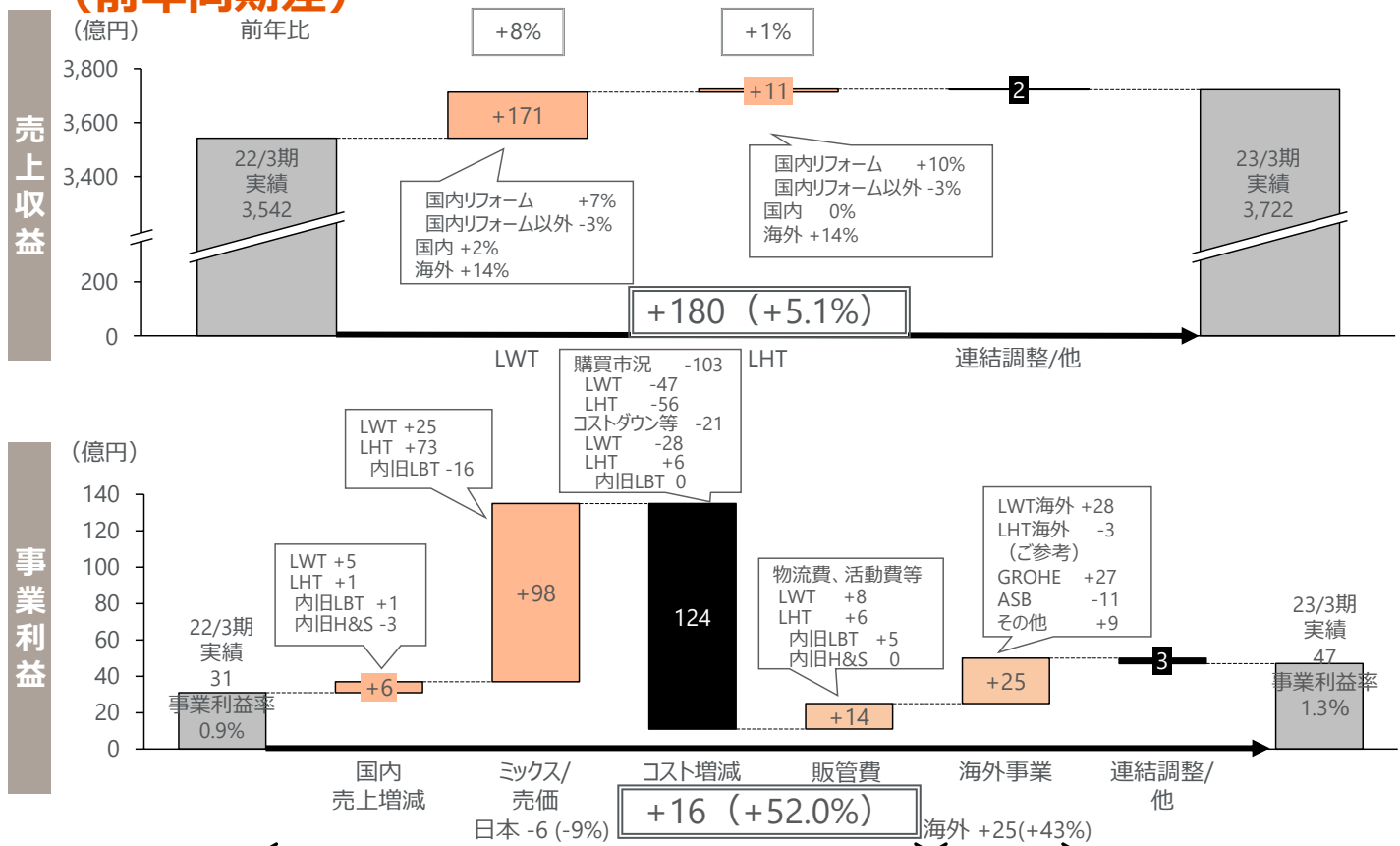
25

2023年3月期 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

2023年3月期 第4四半期 (3カ月) 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

2023年3月期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	22/3期 実績	23/3期 実績	増減
売却目的で保有していた資産の処分益	128	53	-75
その他	43	45	+3
その他の収益	170	98	-73
有形固定資産処分損	15	20	+5
減損損失	26	28	+2
その他	83	58	-26
その他の費用	124	106	-18
受取利息	13	11	-2
受取配当金	17	14	-3
デリバティブ評価益	11	4	-7 (A)
その他	0	2	+2
金融収益	41	31	-10
支払利息	44	54	+10
為替差損	17	26	+10 (A)
その他	1	3	+2
金融費用	62	83	+21

(A)「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。

	23/3期 実績
デリバティブ 評価益	4
為替差損	-26
Net	-22 損

	22/3期 実績
デリバティブ 評価益	11
為替差損	-17
Net	-6 損

LIXIL

28

セグメント別 実績及び通期業績予想

	(億円)	22/3期			23/3期				24/3期 通期予想			
		国内	海外	計	国内	海外	計	前年 同期比%	国内	海外	計	前期比 %
LWT	売上収益	4,137	4,484	8,622	4,184	4,969	9,153	+6.2%	4,295	5,155	9,450	+3.2%
	事業利益	332	434	766	250	223	473	-38.3%	255	275	530	+12.2%
	%	8.0%	9.7%	8.9%	6.0%	4.5%	5.2%	-3.7pt	5.9%	5.3%	5.6%	+0.4pt
LHT ⁽¹⁾	売上収益	5,656	186	5,842	5,718	264	5,982	+2.4%	5,830	235	6,065	+1.4%
	事業利益	314	3	317	189	5	194	-38.9%	325	5	330	+70.4%
	%	5.5%	1.6%	5.4%	3.3%	1.9%	3.2%	-2.2pt	5.6%	2.1%	5.4%	+2.2pt
連結調整 ・他 ⁽²⁾	売上収益			-178			-175	-			-215	-
	事業利益			-434			-409	-			-460	-
LIXIL ⁽²⁾	売上収益	9,793	4,671	14,286	9,902	5,233	14,960	+4.7%	10,125	5,390	15,300	+2.3%
	事業利益	646	437	649	438	228	257	-60.3%	580	280	400	+55.4%
	%	6.6%	9.4%	4.5%	4.4%	4.4%	1.7%	-2.8pt	5.7%	5.2%	2.6%	+0.9pt

LIXIL

(1) LHTのうち、複数の事業をグローバルに行っている会社業績の国内と海外の内訳を1Qから変更しており、それに伴い前年実績も更新
(2) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

29

主要海外子会社

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	22/3期 実績	23/3期 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	112.86	134.95	-
売上収益	1,408	1,355	-4%
事業利益	77	-57	-
事業利益率	5%	-4%	-

決算期	22/3期 期末残高	23/3期		期末残高
		償却額	その他 ⁽¹⁾	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	122.39	134.95	-	133.53
のれん ⁽²⁾	227	-	21	247
無形資産 ⁽²⁾	200	-6	55	249

Grohe Group (グロ-工) (百万ユーロ)	22/3期 実績	23/3期 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	131.01	141.24	-
売上収益	1,776	1,780	0%
事業利益	253	189	-25%
事業利益率	14%	11%	-3.6pt

決算期	22/3期 期末残高	23/3期		期末残高
		償却額	その他 ⁽¹⁾	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	136.70	141.24	-	145.72
のれん ⁽²⁾	1,203	-	-2	1,201
無形資産 ⁽²⁾	1,417	-11	-2	1,404

LIXIL

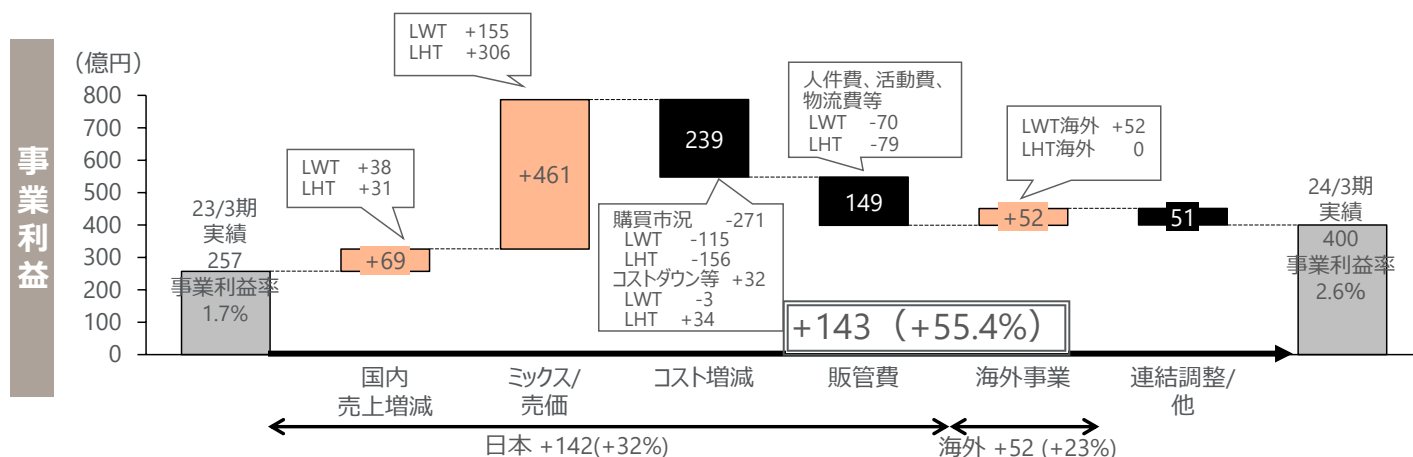
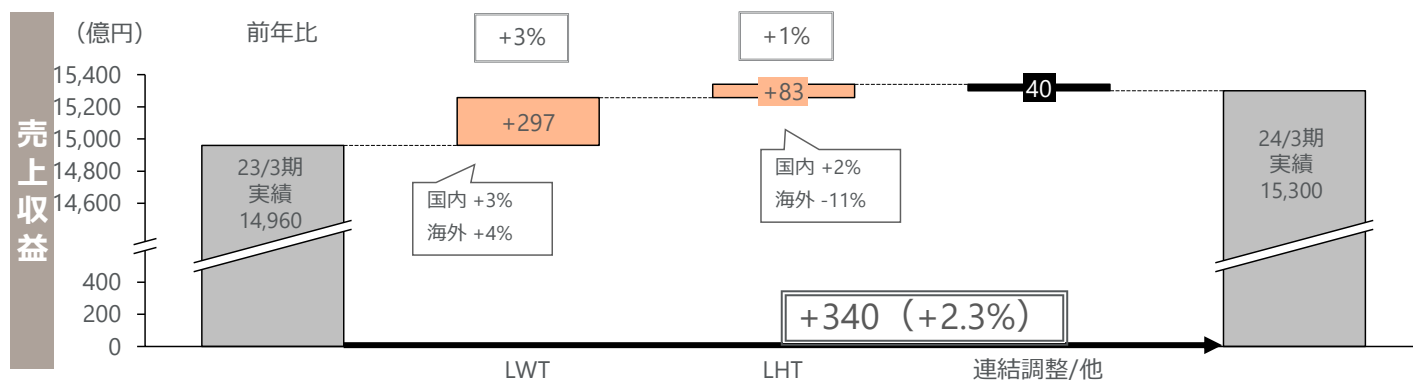
(1) 為替換算差額など

(2) のれん及びその他の無形資産とその評価については、2022年3月期 有価証券報告書 p.133-135「14. のれん及びその他の無形資産」に記載

30

https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/youho_pdf/S100OB6V/00.pdf#page=133

2024年3月期予想 売上収益・事業利益の増減 (前年同期差)



LIXIL

31

➤ (ご参考) 事業関連・ESG関連トピックス

32

➤ 役員体制の変更 (1)

(6月開催 定時株主総会后)

(3月27日発表)

取締役一覧 (◎は2023年6月新任、□は独立役員、下線付きは女性)

*: 議長/委員長、●: 委員

	氏名	取締役会 議長	指名 委員会	監査 委員会	報酬 委員会	ガバナンス 委員会
社内 取締役 (1)	瀬戸 欣哉					
	松本 佐千夫					
	<u>ファ・ジン・ソン・モンテサーノ</u> (Hwa Jin Song Montesano)					
社外 取締役	□◎ 青木 淳		●		●	●
	□◎ 石塚 茂樹			●		●
	□ <u>金野 志保</u>			●		●
	□ <u>田村 真由美</u>			●		●
	□ 西浦 裕二		*		●	●
	□ 濱口 大輔			*		●
	□ 松崎 正年	*	●			*
	□ <u>綿引 万里子</u>		●		*	●

〉役員体制の変更 (2)

(6月開催 定時株主総会后)

新任取締役候補



青木 淳 (あおき じゅん)

(1957年4月30日生)

選任理由

青木氏は、一級建築士として、都市計画・建物・建材等に関する豊富な業界の経験・知見を有しており、また建築等の技術に関する知見、ダイバーシティ&インクルージョンに関する深い知見、企業経営の実務経験、グローバルな事業経験を有していることから、当社社外取締役としてその職務を遂行できるものと判断しております。

略歴

1980年4月	株式会社榎総合計画事務所入社
1991年4月	マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク日本支社入社 アソシエイト・コンサルタント
1995年7月	同社 シニア・エンゲージメント・マネジャー
1999年2月	BNPパリバ・カード・ジャパン 日本代表
2011年11月	フランス・同社 国際人事部門責任者
2014年11月	株式会社資生堂 常勤顧問
2015年4月	同社 執行役員 人事本部長、人事部長
2016年1月	同社 中国事業革新プロジェクト担当、秘書・渉外担当、資生堂麗源化粧品有限公司 董事長
2017年1月	同社 執行役員常務 クリエイティブ本部長、宣伝・デザイン担当
2017年3月	同社 取締役
2018年1月	同社 代表取締役 人事、秘書・渉外、企業文化担当
2019年1月	同社 取締役 チーフ・ピープル・オフィサー、チーフ・ソーシャルバリュー・クリエーション・オフィサー、経営全般補佐
2020年1月	同社 執行役員常務、チーフ・ソーシャルバリュー・クリエーション・オフィサー
2022年1月	株式会社淳風満帆 代表取締役 (現任)

LIXIL

34

〉役員体制の変更 (3)

(6月開催 定時株主総会后)

新任取締役候補



石塚 茂樹 (いしづか しげき)

(1958年11月14日生)

選任理由

石塚氏は企業の経営経験を有することに加え、IT・デジタル技術、製造技術及び品質マネジメント等に長年にわたり携わり、またグローバルに事業を展開する企業での長年にわたる経営実務経験、及び製造・技術開発に関する高い見識を有していることから、当社社外取締役としてその職務を遂行できるものと判断しております。

略歴

1981年4月	ソニー株式会社 ⁽¹⁾ 入社
2004年8月	ソニーイーエムシーエス株式会社 (現 ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社) 執行役員常務
2007年6月	ソニー株式会社 ⁽¹⁾ 業務執行役員 SVP
2015年4月	同社 執行役員 EVP
2017年4月	ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社 (現 ソニー株式会社) 代表取締役社長
2018年6月	ソニー株式会社 ⁽¹⁾ 専務
2020年4月	ソニーエレクトロニクス株式会社 (現 ソニー株式会社) 代表取締役社長 兼 CEO
2020年6月	ソニー株式会社 ⁽¹⁾ 代表執行役員副会長
2021年4月	ソニー株式会社 取締役
2021年6月	丸紅株式会社 社外取締役 (現任)
2022年6月	ソニーグループ株式会社 副会長

LIXIL (1) 現 ソニーグループ株式会社

35

役員体制の変更 (4) (2023年4月1日付)

(3月27日発表)

執行役一覧 (※は取締役を兼任、下線付きは女性)

氏名		役職
瀬戸 欣哉	※	代表執行役社長 兼 Chief Executive Officer
松本 佐千夫	※	代表執行役副社長 経理・財務・M&A・IR担当 兼 Chief Financial Officer
<u>ファ・ジン・ソン・モンテサーノ</u> (Hwa Jin Song Montesano) ⁽¹⁾	※	代表執行役専務 人事・広報・渉外・Impact戦略担当 兼 Chief People Officer
金澤 祐悟		執行役専務 Marketing・Digital担当 兼 Chief Digital Officer
ビジョイ・モハン (Bijoy Mohan)		執行役専務 LIXIL International担当
吉田 聡		執行役専務 LIXIL Housing Technology (LHT) 担当
大西 博之		執行役専務 LIXIL Water Technology (LWT) Japan担当
君嶋 祥子		執行役専務 法務・Compliance・内部監査担当 兼 Chief Legal and Compliance Officer

LIXIL (1) 2023年4月1日付 代表執行役に就任

36

役員報酬：執行役を対象とする譲渡制限付株式報酬制度の導入

執行役が、株主の皆さまとの利害共有を深め、中長期的な価値創造に勤しむことを促すために、中長期インセンティブ報酬制度に譲渡制限付株式報酬制度を追加^{(1) (2)}

旧制度

基本報酬	業績連動報酬	株価連動報酬
		ファントムストック (確定精算：3年後)

2024年3月期以降

基本報酬	業績連動報酬	株価連動報酬
		ファントムストック (確定精算：3年後)

- 2023年4月から執行役の中長期インセンティブ報酬制度の50%をファントムストック、残りの50%を譲渡制限付株式報酬とする
- 新たに株式保有ガイドラインとして、執行役が在任期間において保有する自社株式数の目安（代表執行役は基本報酬の額の3倍以上、執行役は基本報酬の額の1倍以上）を定める

LIXIL (1) 2023年4月28日公表 適時開示「譲渡制限付株式報酬としての新株式発行に関するお知らせ」
(2) 対象の執行役は、取締役を兼務する者を含み、国内非居住者を除く

37

事業・ESG関連トピックス

独自の新技术と素材の探究により 新発想の窓を開発

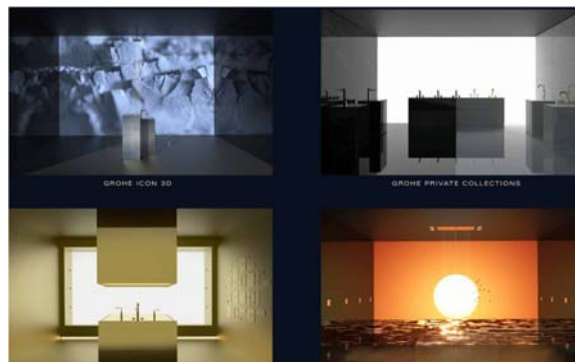
炭素繊維強化樹脂（CFRP）を採用した パノラマウィンドウ「SEAMLESS」発売⁽¹⁾



- 高強度、高断熱性、高耐久性を併せ持つCFRPにより、洗練された大開口のデザインを実現
- 初めて窓サッシの素材として採用。アルミ、樹脂に加え、代替素材としての可能性を追求
- 断熱性の高い開口部を通じて未来につづく快適で健康な暮らしを実現

戦略的なブランド・ポートフォリオの 構築を推進

GROHEサブブランド「GROHE SPA」強化 ASBのブランド浸透を推進



- GROHEサブブランド⁽²⁾3つのうち、「GROHE SPA」が2023/4/18~23開催のミラノデザインウィークに出展⁽³⁾
- 「水と健康」をコンセプトに高度なカスタマイズ性、衛生を超えた上質なシャワー体験提供により、ブランド価値を強化
- American Standardにおいてもユーザー体験の深化などに取り組み、戦略的なブランド・ポートフォリオ構築を推進

LIXIL

(1) ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/hubfs/newsroom/PDF/JapanComms/20230227_SEAMLESS.pdf
(2) 「GROHE SPA」「GROHE Professional」「GROHE QuickFix」
(3) ニュースリリースhttps://newsroom.lixil.com/ja/20230418_mdw

38

事業・ESG関連トピックス

気候変動対策を通じた緩和と適応

PPAモデル⁽¹⁾による太陽光発電設備を 2工場に導入⁽²⁾



- 再生可能エネルギーの活用を推進するため、オンサイトPPAモデルによる太陽光発電設備を導入
- 2050年までに事業プロセスと製品・サービスによるCO₂排出量を実質ゼロにすることを目指し、再生可能エネルギー活用を促進
- CO₂排出量は2工場合計で年間約321トンの削減を見込む

資源の循環利用を促進

水をリサイクルするシャワーシステム 「GROHE Everstream」のコンセプトを発表⁽³⁾



- 水を浄化・循環利用する「GROHE Everstream」は10分間のシャワーで水の使用量を、従来型シャワーと比較して最大75%削減、エネルギー使用量を66%削減
- 当該シャワーシステムは2024年春から製品化予定
- 高い節水効果と、温水の使用量を減らすことでCO₂排出量の削減に貢献し、環境持続性を追求

LIXIL

(1) PPA（Power Purchase Agreement）事業者が電力需要家の敷地に太陽光発電設備を無償で設置、発電した電力を電力需要家に販売
(2) ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/ja/20230209_01
(3) ニュースリリース https://www.grohe-x.com/en/newsroom-overview/news-overview-international/sustainability_grohe-everstream（英語のみ）

39

外部評価

FTSE Russel Indexes

FTSE Russell社の「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」(2022年3月)「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定(6年連続、2022年6月)



Dow Jones Sustainability Indices

S&P Global社の「DJSI World」の構成銘柄に選定(4年連続)。同時に、「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄にも選定(6年連続)(2022年12月)



CDP「水セキュリティ A」

水リスクに対応する多面的な取り組みにより、最高位Aランクに選定(2年連続、2022年12月)



CDP「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」

最高評価を獲得(3年連続、2023年3月)



MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定(6年連続、2022年6月)

免責事項は当社ウェブサイトをご参照ください。

2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

MSCI ESG Leaders Indexes

MSCI社の「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に選定(2022年12月)

免責事項は当社ウェブサイトをご参照ください。

2023 CONSTITUENT MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI ESG Ratings

MSCI社の「ESG Ratings」がAAからAAAにランクアップ(2023年2月)

免責事項はニュースリリースをご参照ください。



なでしこ銘柄

経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「なでしこ銘柄」に選定(7回目、2023年3月)

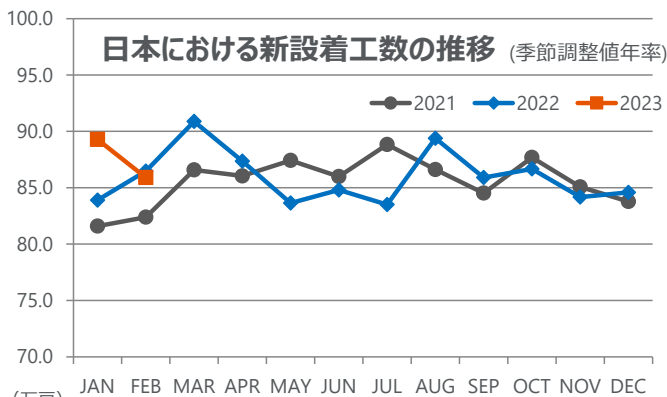


LIXIL

(1) 当社ウェブサイト 社外からの評価・表彰 <https://www.lixil.com/jp/about/evaluation.html>
(2) ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/ja/20230323_msci_nadeshiko

40

事業環境

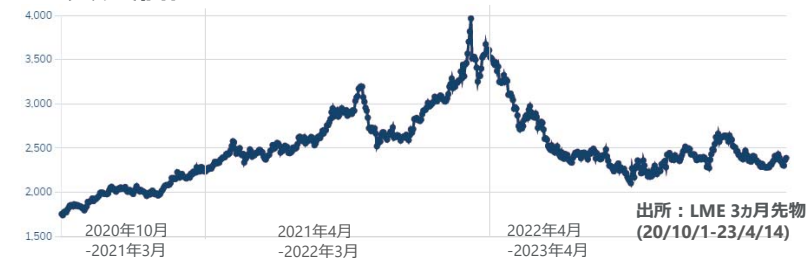


新築着工水準 (対前年比)

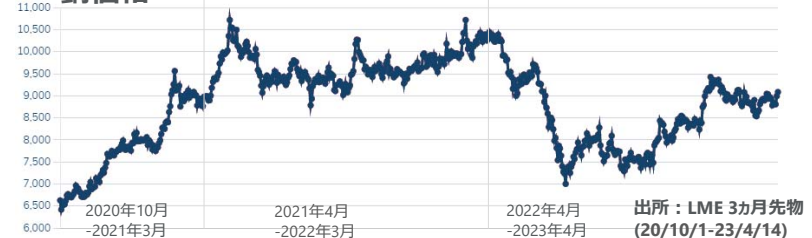
- 2023/1-2： +3.0%
- 2022/1-12： +0.4%

	2022年1月-12月 (12ヵ月)		2022年4月-2月 (11ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	859,529	+0.4%	787,135	-0.3%
持家(1)	253,287	-11.3%	230,648	-11.6%
貸家	345,080	+7.4%	314,842	+5.5%
分譲マンション	108,198	+6.8%	102,522	+11.3%
分譲戸建(2)	145,992	+3.5%	132,738	+0.8%
戸建合計(1)+(2)	399,279	-6.4%	363,386	-7.5%

アルミ価格



銅価格



為替 (期中平均レート)	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 計画前提
米ドル	112.86円	134.95円	135.0円
ユーロ	131.01円	141.24円	137.7円
原材料価格の 実績	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	30.5万円/トン	39.2万円/トン	38.5万円/トン
銅合金価格	86.8万円/トン	98.9万円/トン	100.1万円/トン

LIXIL

41



この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE
世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現